

一次研究用フォーム		データ記入欄	
基本情報	対象疾患	皮膚原発扁平上皮癌	
	タイプ	医学専門情報	
タイトル情報	論文の英語タイトル	Metastatic cutaneous squamous cell carcinoma of the head and neck region	
	論文の日本語タイトル		
診療ガイドライン情報	ガイドラインでの引用有無	1.有り 2.無し (1)	
	ガイドライン上での目次名称	SCC-CQ10-2	
書誌情報	研究デザイン	I. システマティック・レビュー／メタアナリシス II. 1つ以上のランダム化比較試験による III. 非ランダム化比較試験による IV. 分析疫学的研究（コホート研究や症例対照研究による） V. 記述研究（症例報告やケースシリーズによる） VI. 患者データに基づかない、専門委員会や専門家個人の意見 (I V)	
	Pubmed ID	8583845	
	医中誌 ID		
	雑誌名	Laryngoscope	
	雑誌 ID		
	巻	106	
	号		
	ページ	156-8	
	ISSN ナンバー		
	雑誌分野	1.医学 2.歯学 3.看護 4.その他 (1)	
	原本言語	1.日本語 2.英語 3.ドイツ語 4.その他 (2)	
	発行年月	1996 年	
著者情報		氏名	所属機関
	筆頭著者	Tavin E	ニューヨーク大学
	その他著者 1	Persky M	ニューヨーク大学 medical center
	その他著者 2		
	その他著者 3		
	その他著者 4		
	その他著者 5		
	その他著者 6		
	その他著者 7		
	その他著者 8		
	その他著者 9		
その他著者 10			

一次研究の 8 項目	目的	領域リンパ節転移を起こした頭頸部原発扁平上皮癌の臨床像を明らかにする。		
	研究デザイン	後ろ向きコホート研究		
	セッティング	ニューヨーク大学 medical center		
	対象者	領域リンパ節転移を起こした頭頸部原発扁平上皮癌：37 例 初診時にリンパ節転移あり：7 例、残りの症例は後発リンパ節転移 部位：頬(9 例)、側頭部(7)、耳(6)、頭皮(6)、前頭部(4)、鼻(4)、眼瞼(1) 転移：頸部(23 例)、耳下腺(16)、肺(5)、骨(2)、他		
	対象者情報 (国籍)	1.日本人 2.日本人以外 3.国籍区別せず (3)		
	対象者情報 (性別)	1.男性 2.女性 3.男女区別せず (3)		
	対象者情報 (年齢)	1.乳幼児 2.小児 3.青年 4.中高年 5.老人 6.乳幼児・小児 7.乳幼児・小児・青年 8.乳幼児・小児・青年・中高年 9.乳幼児・小児・青年・中高年・老人 10.小児・青年 11.小児・青年・中高年 12.小児・青年・中高年・老人 13.青年・中高年 14.青年・中高年・老人 15.中高年・老人 16.乳幼児・青年 17.乳幼児・中高年 18.乳幼児・老人 19.小児・中高年 20.小児・老人 21.青年・老人 22.年齢区別せず (15)		
	介入 (要因曝露)	手術：13 例、手術+放射線療法：16 例、放射線療法：2 例		
	エンドポイント (アウトカム)	エンドポイント	区分	
		1	再発形式	1.主要 2.副次 3.その他 (3)
		2	予後因子	1.主要 2.副次 3.その他 (3)
		3		1.主要 2.副次 3.その他 ()
		4		1.主要 2.副次 3.その他 ()
		5		1.主要 2.副次 3.その他 ()
		6		1.主要 2.副次 3.その他 ()
		7		1.主要 2.副次 3.その他 ()
		8		1.主要 2.副次 3.その他 ()
	9		1.主要 2.副次 3.その他 ()	
	10		1.主要 2.副次 3.その他 ()	
	主な結果	51%の症例は転移が生じる前に原発巣の再発があった。 30%の症例は原発巣は制御されていた。 31 例の治癒した症例のうち、13 例は手術で、2 例は放射線療法で、 16 例は手術+放射線療法で治療されていた。		
	結論	局所再発は領域リンパ節再発の危険因子である。		
	備考			
レビューワーコメント	レビューワー氏名	鹿間 直人		

	レビューワーコメント	治療の有効性を評価できるデータではないが、リンパ節再発を生じやすい病態を把握するには多少有用か。 レベル I V
--	------------	---